

今夏の電力需給状況について

平成 25 年 8 月 29 日
 関西広域連合

平成 25 年夏の関西電力管内の電力需給状況は以下のとおり。

1 今夏の電力需給状況について

- 関西電力のデータによると、節電要請期間中（7月1日～8月23日）における最大需要は、8月22日14時台の2,816万kWで、同日の最大供給力2,931万kWに対し電力使用率は96%となった。
- 同日は、気温が高かったことや舞鶴発電所1号機（火力、90万kW）のトラブルによる停止等があったが、関西電力は、卸電力取引所からの追加調達や他電力会社からの融通などにより対応した。
- 今夏のこれまでの“節電”の状況を、日々のピーク需要と気温の関係から解析すると、平成22年と比べて平均で約10%（約270万kW）減少している。

《参考》

今夏の節電要請内容 : 昨年並の節電の着実な実施（平成22年夏と比べて9%削減を目安）
 今夏のこれまでの節電実績 : 平成22年度比 約10%（約270万kW）
 昨夏の節電実績 : 平成22年度比 約11%（約300万kW）

2 今後の電力需給見通し（9月の大飯原発停止以降）

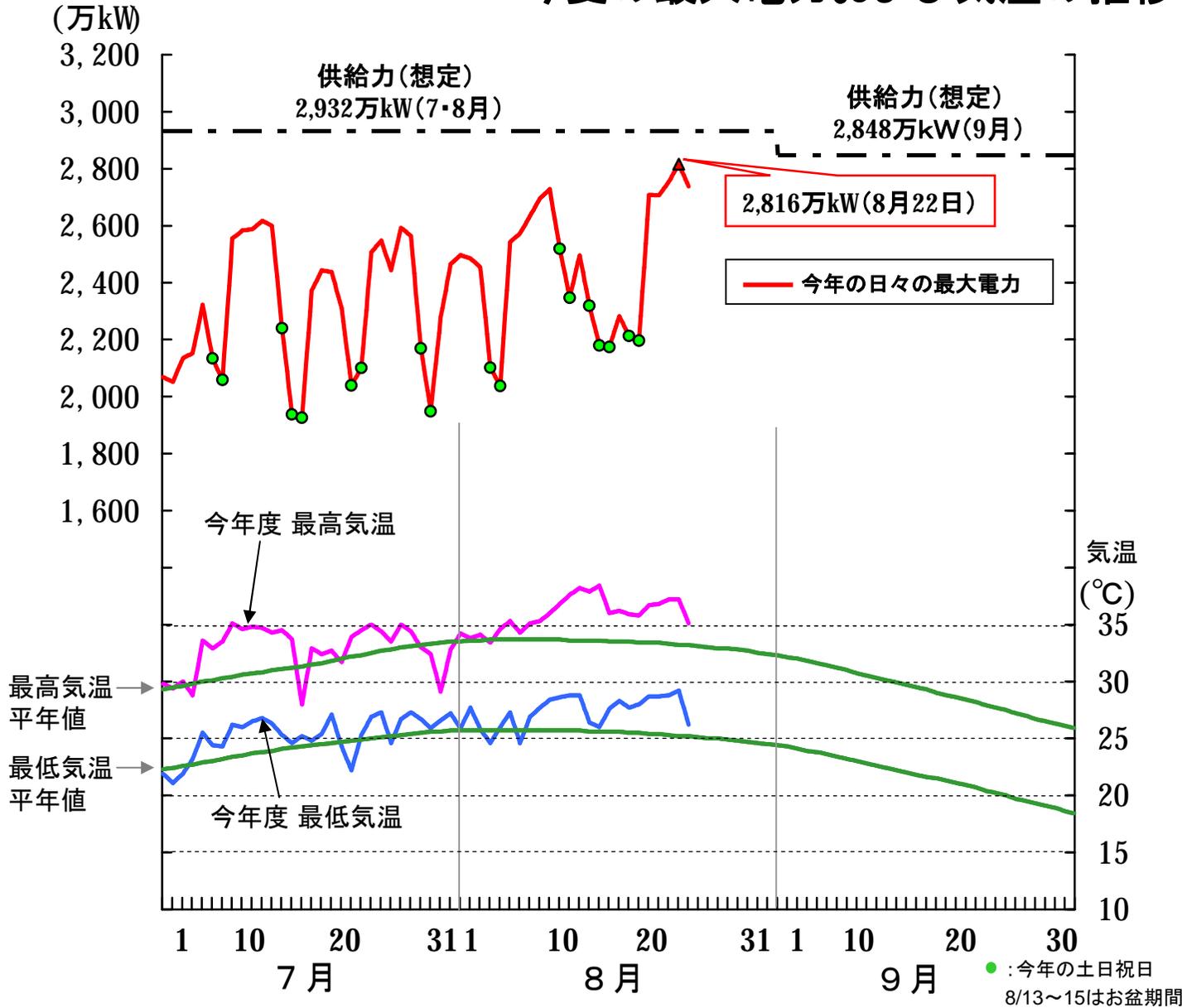
- 大飯原発3号機（118万kW）が9月2日から、4号機（118万kW）が9月15日から、定期検査により停止する。
- 関西電力は、4月時点の電力需給見通しでは見込んでいなかった姫路第二発電所1号機（火力、48.65万kW、8/27から営業運転）及び2号機（火力、48.65万kW、試運転中）を追加供給力として活用する他、他電力会社からの融通などにより、安定供給に最低限必要な3%以上の予備率を確保するとしている。

関西電力管内の電力需給見通し（4月時点）

	最大 需要 想定	供給力 合計	供給力内訳							供給 予備力
			原子力	水力	火力	揚水	新エネ	他社	融通等	
9月前半	2,764	2,848	118	188	1,483	429	0.1	508	122	84(3.0%)
9月後半	2,469	2,543	0	188	1,388	393	0.2	512	62	74(3.0%)
[参考]8月	2,845	2,932	236	205	1,478	420	0.3	525	66	87(3.0%)

火力発電所のトラブルリスク等を踏まえ、電力需給がひっ迫に至ることのないよう、これまでと同様の“節電”に取り組んでいただくことについて、引き続き、府県民や事業者の皆様呼びかけていく。

今夏の最大電力および気温の推移



◎気温※¹ (大阪) (°C)

H25年7月		平年差
平均	28.5	+1.1
最高	32.9	+1.3
最低	25.3	+1.0

H25年8月上旬※ ²		平年差
平均	30.2	+1.1
最高	34.9	+1.1
最低	26.8	+1.1

H25年8月中旬※ ²		平年差
平均	31.5	+2.5
最高	37.0	+3.4
最低	27.9	+2.2

H25年8月下旬※ ²		平年差
平均	31.4	+2.8
最高	36.5	+3.3
最低	28.1	+2.9

◎猛暑日(最高気温35°C以上) (日)

7月	8月上旬※ ²	8月中旬※ ²	8月下旬※ ²	計
3	5	10	3	21

◎熱帯夜(最低気温25°C以上) (日)

7月	8月上旬※ ²	8月中旬※ ²	8月下旬※ ²	計
20	8	10	3	41

※¹: 気温は全て期間の平均値

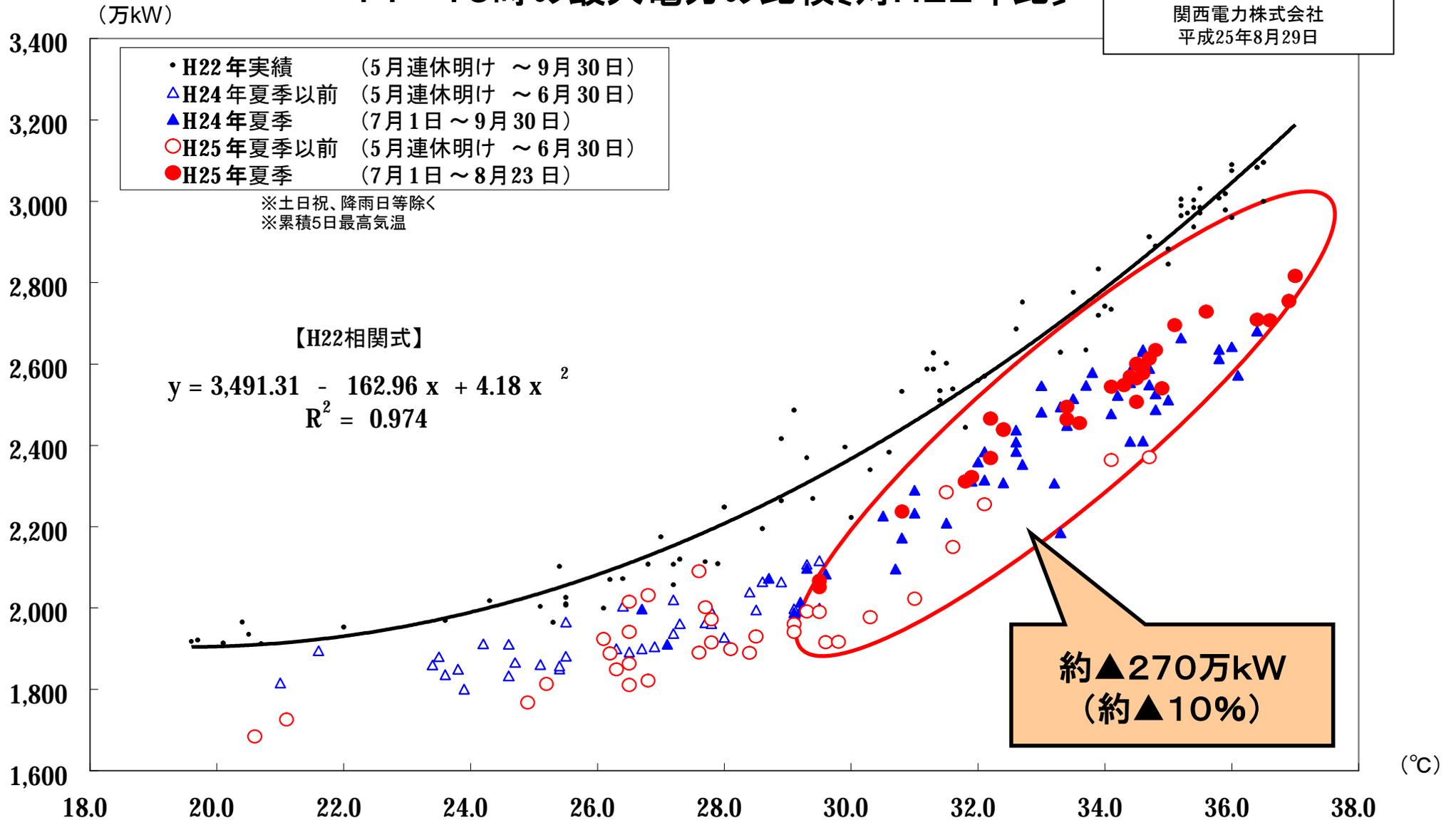
※²: 上旬: 8/1~10、中旬: 8/11~20、
下旬: 8/21~23の値

○今夏のこれまでの最大電力発生日は8月22日(木)の2,816万kWです。

<参考> 姫路第二発電所1号機(48.65万kW)の営業運転開始時期を当初予定より約1ヶ月前倒し、8月27日より開始しています。

14～15時の最大電力の比較〔対H22年比〕

関西広域連合委員会
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成25年8月29日



○7/1から8/23までの実績では、H22年と比べて、平均で約270万kW(約10%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

平成24年と今夏の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合委員会
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成25年8月29日

	H25年 夏(今夏) [8/23時点]	H24年 夏 [節電期間:7/2~9/7]
節電期間	ご無理のない範囲での節電 <参考: 政府の節電要請内容および期間・時間> 7月1日~9月30日までの平日 (8月13日~8月15日を除く) 9時~20時	7月2日~9月7日 (8月13日~8月15日を除く)
時間帯		平日 9時~20時
要請 %		15%以上 (~7月9日) 10%以上 (7月10日~)

【実績関係(業種別)】

		減少量	減少率	減少量	減少率
節電効果(全体)		約270万kW	約 10 %	約300万kW	約 11 %
(内訳)	家庭用	約 60万kW	約 10 %	約 55万kW	約 9 %
	業務用	約 130万kW	約 11 %	約125万kW	約 11 %
	産業用	約 80万kW	約 8 %	約120万kW	約 12 %

○7/1から8/23までは、H22年と比べて、家庭用:約60万kW(約10%)、業務用:約130万kW(約11%)、産業用:約80万kW(約8%)減少しています。